

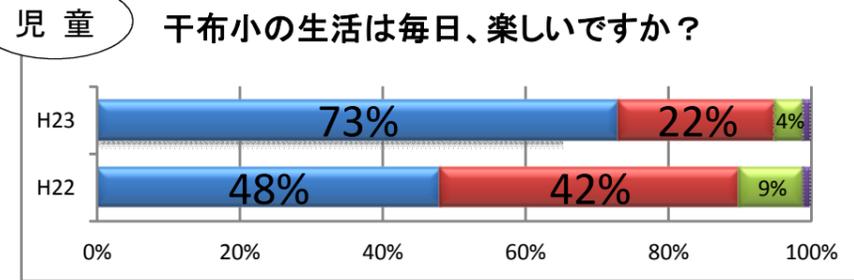
干布小 学校評価のお知らせ



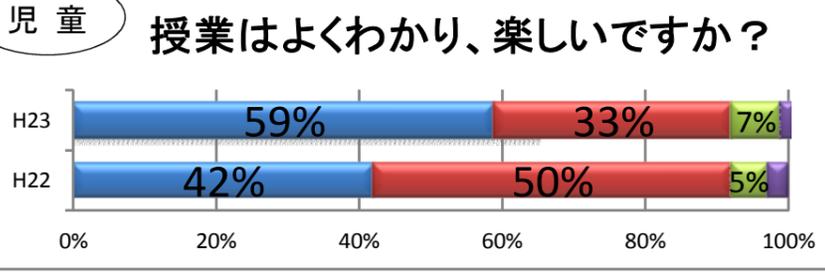
余寒の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
 さて、昨年11月末、保護者の皆様にご回答いただきました学校評価アンケートですが、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。児童アンケートと教職員の評価もあわせて、下記のように3つの観点で結果を集計し、考察いたしましたので、お知らせいたします。裏面には、全アンケート項目結果等も掲載致しましたので、あわせてご覧ください。
 今後とも、全職員一丸となって、本校の教育目標『たくましく伸びていく子ども』をめざした教育活動に邁進していきますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

よくあてはまる (Blue) ややあてはまる (Red) あまりあてはまらない (Green) まったくあてはまらない (Purple)

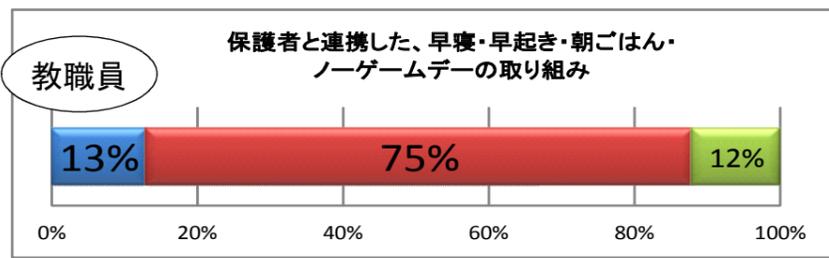
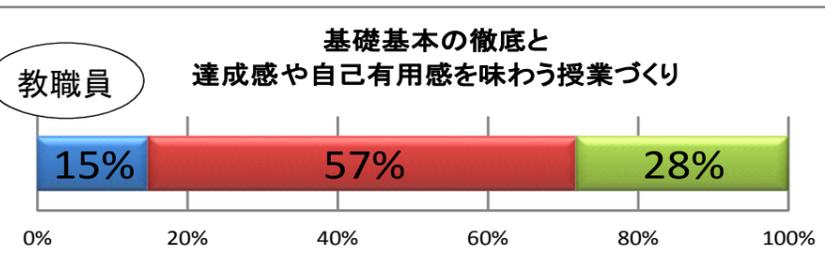
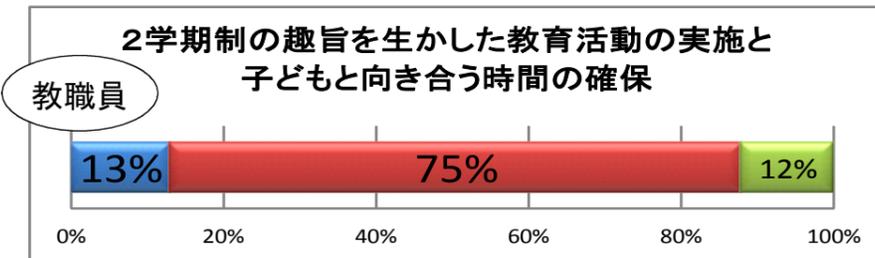
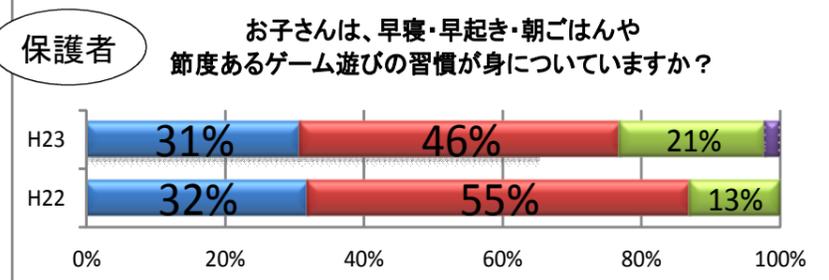
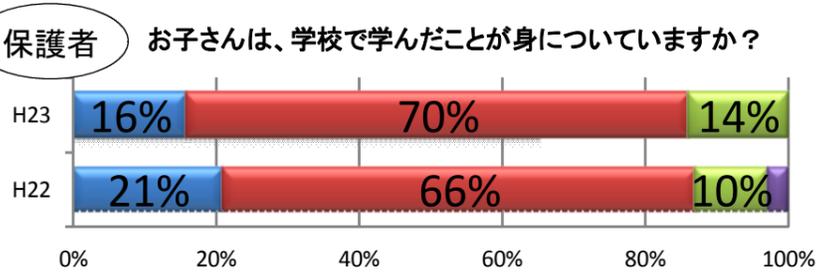
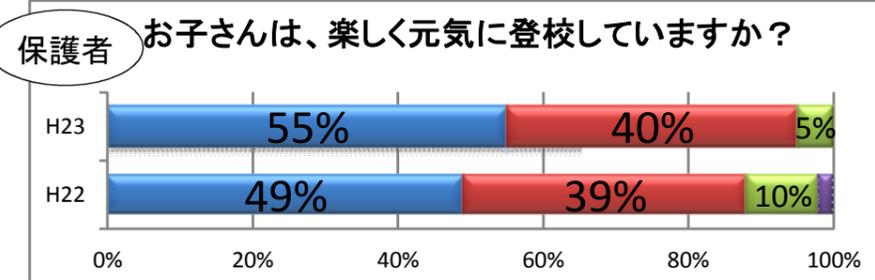
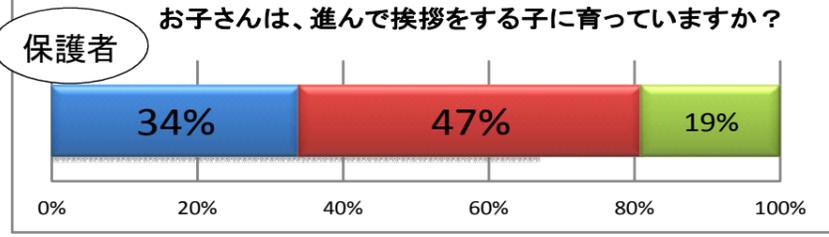
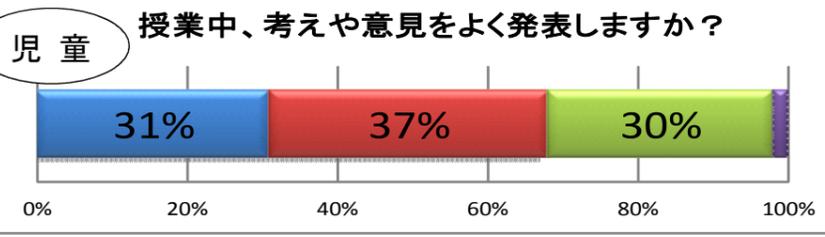
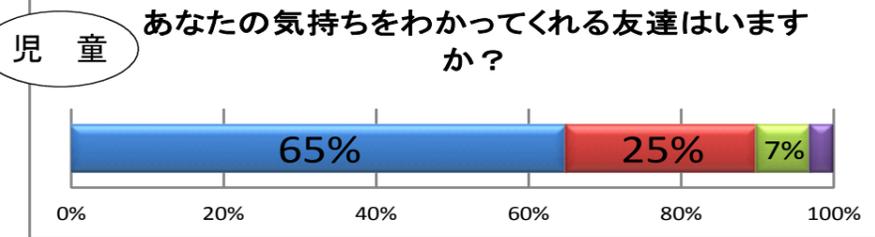
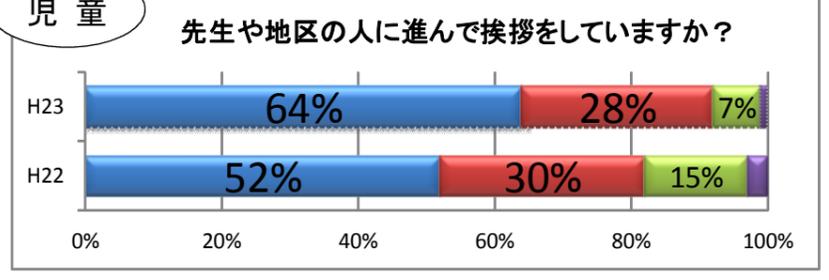
<干布小の学校生活について>



<わかる・楽しい授業づくり等について>



<学校・PTA・地域との連携について>

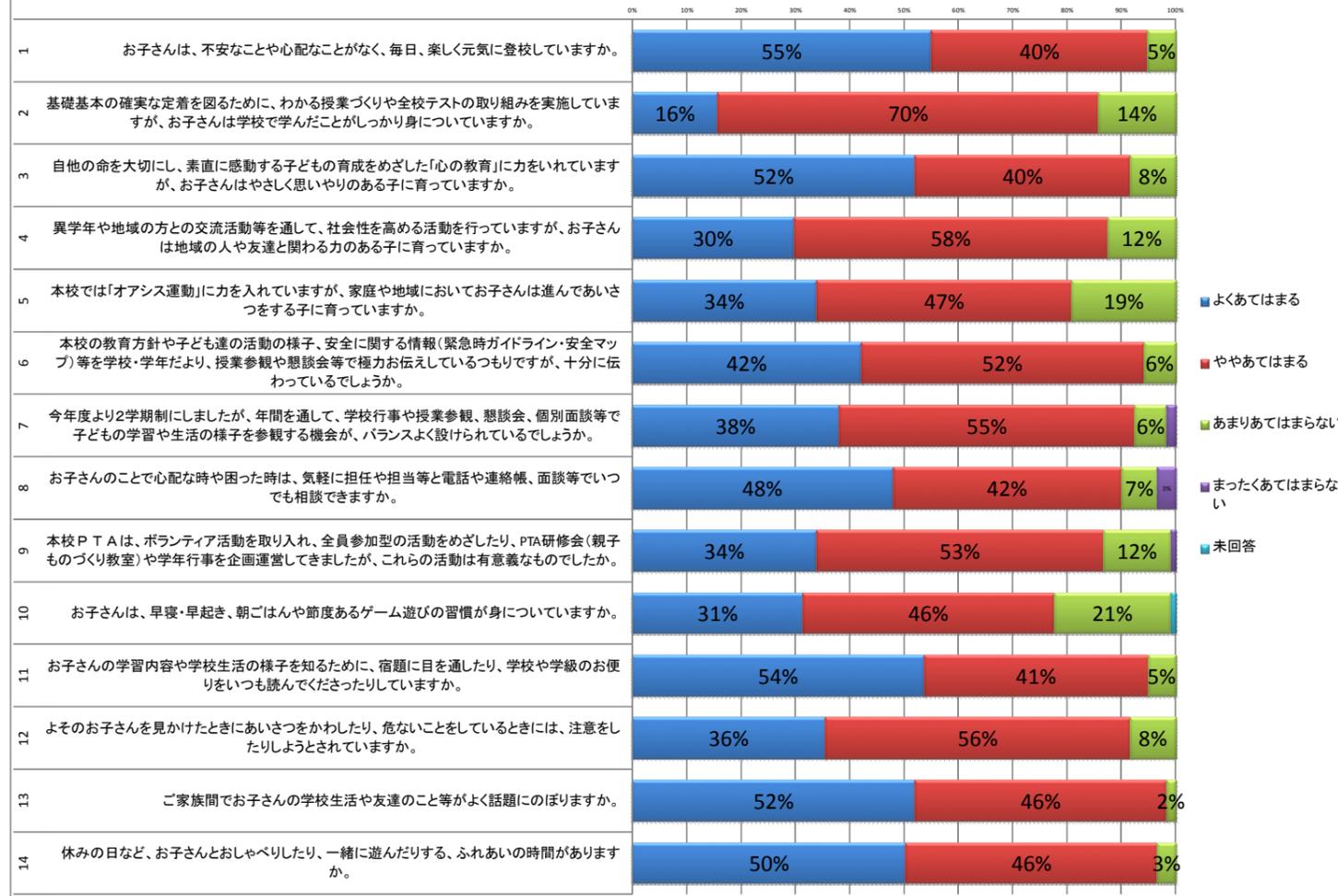


<学校より>
 ■今年度は、1月末まで全児童出席日数は57日で、教職員一同、とてもうれしく思っています。来年度も、子ども達から「授業が楽しい。何かあっても解決してくれたり、自分のことを認めてくれたりする友達や先生がいてうれしい。」等という、居場所があり、安心できる学校にしていきます。
 ■2学期制1年目の今年は、行事の一部入れ替えや評価の時期変更等、新しい教育課程で行いました。例えば、春の運動会は5月下旬の開催でしたが子ども同士が絆を深めて、23年度をスタートできたというメリットがありました。さらに、この絆を、運動会後の教育活動でも育むことができました。学校行事でつけた力を日常で活かすことも大事に考えています。

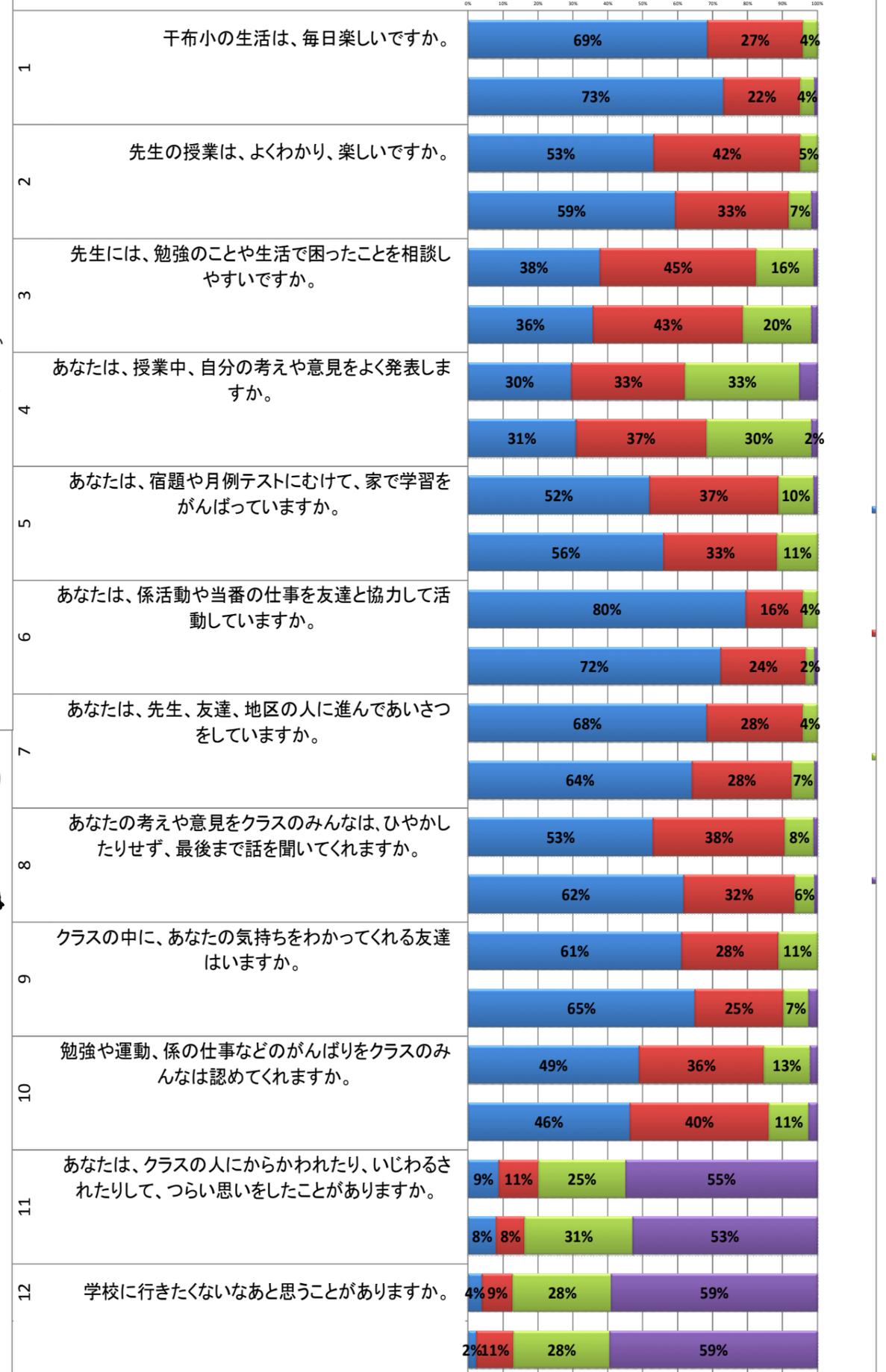
<学校より>
 ■本校の授業は、『クラスみんなが納得する授業づくり』をめざしています。そのために、①教科指導の本質を踏まえる。②生徒指導の3機能を活かす。③特別支援教育の手立てで支える。④客観的な資料で授業を評価する。という4つの手立てをとっています。今後とも、授業改善を核として子どもの思いや願いをとらえ、子どもが主役の授業をめざしていきます。
 ■2学期制2年目の平成24年度学校づくりのキーワードは、「改善と創造」と考えています。「子どもが主役」であることを原点に、子どもの主体性が発揮できるように、教育活動の改善を図るとともに、創造的なしなやかさを考えて、学校経営に努めます。

<学校より>
 ■『あいさつ』については、児童のポイントは昨年度よりも上がったものの、19%の保護者は「まだ身につけていない」と感じているようです。今後とも、学校、家庭、地域との連携を図り、心を通わせる「あいさつ運動」をさらに推進していきたいと思っております。
 ■ノーゲームアンケートやさわやかカード等で取り組んでいるときの集計では、よい結果になっていますが、21%の保護者の方は、「日常的な習慣として身につけていない」と捉えているのではないのでしょうか。今後とも、励ましながら継続した取り組みをお願いいたします。

平成23年度 保護者アンケート 学校全体集計



平成23年度 児童アンケート学校全体集計 上段6月下段12月



今後、変化する時代を生きていく上で、お子さんにつけたい力とは何ですか？

1 自主自立した子ども 自信を持ち、自分の意志、意見を言える子ども

- 自分の意志を、はっきりと言えたり、伝えたりすることができるようになってほしい。
- 嫌なことは「いや!」と言える。自分の気持ちを言葉にできる力をつけてほしい。
- 困ったり、悩んだりしたとき、心にためずに相談できる力をつけてほしい。
- 自分に自信を持ち、困難に立ち向かう強さや前向きな姿勢をつけたい。
- 問題や困難な場面に直面した時に、自分で判断し、解決していける力を身につけてほしい。



2 思いやりや協調性があり、相手の立場がわかり、感謝の気持ちが言える子ども

- 思いやりや協調性を身につけ、もっと積極的になってほしい。
- 相手の気持ちを理解して接することができる力を身につけてほしい。
- 人の痛みがわかり、人をいたわる心を育てていきたい。
- すべてのことに感謝する気持ちや心を持ってもらいたい。

3 忍耐力や粘り強さ、我慢する心があり、失敗を恐れず、諦めない気持ちのある子ども

- 最後まで諦めずに、何事も取り組む力をつけてほしい。
- 我慢する心、辛抱する力、困難に負けない強さを身につけてほしい。

4 挑戦力や行動力のある子ども

- 失敗を恐れず、難しいことにも挑戦し、たとえ落ち込んでも、そのことを引きずらずに前に進める力をつける。
- いろいろなことに挑戦して、視野を広げてほしい。

5 危機対応ができる子ども

- 一人でいるときや集団でいるとき、あらゆる場面で危険がふりかかっても、身の守り方を身につけてほしい。
- どこでも生きていけるような適応力をつけ、へこたれない強い精神力がほしい。

<学校経営に関するご意見は、2月の授業参観全体会でお渡しいたします。>

